

地元っち！チケットプレゼント

ペア2枚1組のご応募となります
ご了承ください

No. 1	・『猫好きさんの祭典 ーにゃんだらけ21ー』ご招待券 ・期間＝10月3日（土）～4日（日）まで有効 場所＝都立産業貿易センター台東館	10名様
No. 2	・『令和8年度秋季展 白隠ワールドー細川護立コレクションのはじまりー』ご招待券 ・期間＝10月3日（土）～11月29日（日）まで有効 場所＝永青文庫	10名様
No. 3	・『第72回 ー陽展』ご招待券 ・期間＝9月30日（水）～10月12日（月祝）まで有効 場所＝国立新美術館	10名様
No. 4	・『マリーアントワネット・スタイル』無料観覧券 ・期間＝10月30日（金）まで有効 場所＝横浜美術館	10名様
No. 5	・『ちひろ 子どもは平和のシンボル ー同時開催ー 武田美穂展』入館ご招待券 ・期間＝10月25日（日）まで有効 場所＝ちひろ美術館・東京	10名様
No. 6	・『藝大式美術のミカタ ーこの夏、藝大生になるー』無料観覧券 ・期間＝9月23日（水）まで有効 場所＝東京藝術大学大学美術館	10名様
No. 7	・『ルーブル美術館展 ルネサンス』無料観覧券 ・期間＝9月9日（水）～12月6日まで有効 場所＝国立新美術館 枚数少数のため、ペアではなく1枚とさせていただきます。申し訳ございません。	20名様

応募方法

記入例

第1希望 チケット名
第2希望 チケット名
第3希望 チケット名
コメント募集のエピソード
教えてほしい事などのコメント
お名前
ペンネームまたはイニシャル
ご住所 TEL
ご意見・イラスト・情報ほか

85円
〒135-0002
江東区住吉2-1-7
読売センター住吉
地元っち！でらっくす
2026年 8月号係
**宛先は下にあるよ！
切り取って貼ってね！**

〒135-0002
江東区住吉2-1-7
読売センター住吉
地元っち！でらっくす
2026年 8月号係

- ◆左の記入例を参考にして**官製ハガキ**または**FAX・メール**でご応募下さい。
 - ◆必ず**第3希望まで**をご記入ください。◆**一家族1通のみ**の応募となります。
 - ◆頂いたおハガキ等の内容は、掲載時に手直しさせて頂く場合がございます。
 - ◆**当選結果はチケットの発送をもってかえさせていただきます。**
- ※ご記入いただいたお客様の個人情報は、YC住吉が適切に管理し、各種サービス・イベントのお知らせなどにご利用させていただく場合がございます。

ハガキ応募 9月09日（水）【当日消印有効】
FAX応募 03-3634-9723
メール応募 info@yc-sumiyoshicho.com
※件名は「ミニコミ」をお願いします。



住吉の情報やお知らせ・物販・休み止め連絡
色々な情報などをお届けいたします
読者の皆様ご活用下さい

読売センター住吉



YC住吉エリア内の
情報ミニコミ紙

地元っち！

でらっくす

2026年 Vol.268

8月
毎月・発行

【読売センター住吉オフィシャルサイト】<https://yc-sumiyoshicho.com/>

読売センター住吉 ☎ 03-3634-9720 フリーダイヤル 0120-04-4349
〒135-0002 東京都江東区住吉2-1-7 ☎ 03-3634-9723

地元っち！は読売センター住吉が発行するPR紙です。
地域の皆様に毎月楽しいイベントや便利な情報をお届けしております。

✉ info@yc-sumiyoshicho.com



夏休み明けは、家出少年少女が増加

毎年、夏休み明けは、家出する少年少女が増える傾向にあります。夏休み期間中の開放的な気分から抜け出せず、現実から逃避したいとの気持ちが行動に表れます。中にはSNSで家出人に交流を呼びかけ、行動を共にして夜遊びを繰り返す少年少女もいます。特に少女の場合、悪い大人などの甘い言葉に惑わされ、福祉犯罪（少年少女が被害者となる犯罪）に巻き込まれる危険性が高くなります。家出したからといって、頭ごなしに叱らず、子どもの言い分にも十分耳を傾け、愛情と思いをやりを持って注意、助言しましょう。



★☆☆大江戸あんしんぶん☆☆★
東京23区内のYCが推進する地域の防災活動紙です。
毎月第3金曜日に
朝刊折込チラシにて
お届けしています。



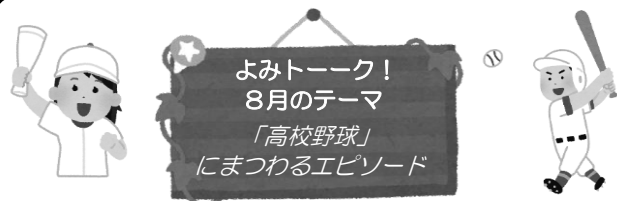
自転車は、幼児から高齢者まで幅広い層が多様な用途で利用することができ、身近で環境にやさしい交通手段です。しかし、交通事故件数の総数が減少傾向にある中、自転車関連事故は7万件前後と横ばいで推移しており、全交通事故に占める割合は増加傾向にあります。さらに自転車乗用中の死亡・重傷事故のうち約4分の3には自転車側にも法令違反があります。こうした中、自転車の交通事故の抑止を図るため、今年4月1日から、16歳以上の自転車運転者を対象に交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）が適用されています。自転車の正しい乗り方①車道の走行が原則・左側通行、歩道の走行は例外・歩行者を優先②交差点では信号と一時停止を守って安全確認③夜間はライト点灯④飲酒運転禁止⑤ヘルメット着用など再確認し、交通ルールをしっかり守って運転しましょう。

自転車を正しく運転しよう

YC住吉はこの様な活動を行っています。

- こども110番** YCは「こども110番の店」として活動しています
- 不審者注意** 配達・集金の際、不審者に注意します
- 防犯情報発信** 警察署の協力を得て 防犯チラシ等を配布します
- 防犯パトロール** 配達・集金とは別に 町内を巡回しています

お問い合わせ 読売新聞読者センター デジタル担当 ☎ 0570-043435 <https://www.yomiuri.co.jp/>
受付時間：9:00～18:00（土日祝日も受付）
※電話が繋がりにくい場合がございます。
読売新聞オンライン 検索



母校が甲子園に初出場になったのは、私が大学生のとき。5人で一台の車に乗り込み、8時間かけて甲子園球場まで応援に行ったのは、今もいい思い出です。数十年経ち、娘の母校も甲子園に出場するようになり、今では娘も嬉しそうに甲子園まで応援に行っています。

千石2丁目／S・Kさん

甲子園目指しての都大会中、息子は怪我でレギュラーから外れましたが、応援に頑張っていました。ある日の読売新聞江東版で頭からバケツで大水を被った瞬間の男子の大きい写真が載っていました。おバカな子と思いつつ読んでいくうちに城東O君?もしいと思ひ息子に応援の時水かぶった?と聞いたら氷水だそうで…そこではなくて。O君やおバカでお調子者はどっちの血を引いたのかね?

白河4丁目／Y・Yさん

負けたらその時点で終わり!勝たなければ次に進めない真剣勝負は見ごたえ充分ですよね。一塁までは走った方が早いとわかっていても闘魂あふれるヘッドスライディングをしたり、スクイズのタイミングでの三塁走者のひたむきな走りなど、プロ野球では見られない臨場感が凄いです。エアコンをガンガンにきかせた快適な室内で見ているのは失礼な気がします、高校野球観戦は最高の夏の風物詩です。

扇橋2丁目／快腸さん

屋間の高校野球の時間に近所のおばさんが振舞ってくれるホットケーキMIXの揚げ菓子が好きでした。幼なじみが集まりお泊り会になったり、夏の子供時代の良き思い出です。

江東橋1丁目／まっきーO3さん

通った高校は軟式野球部しかなくて、夏の甲子園はテレビ観戦専門でした。

立川4丁目／チョコBOXさん

コメント大募集!!

厳しい暑さが続いていますね。外に出るのをためらったり、冷たいものばかり食べたりと、思わず暑さに負けてしまうこともあるのではないのでしょうか。そこで今回は「暑さに負けた瞬間」にまつわるエピソードを募集します。思わず笑ってしまった出来事や、今年の暑さに「もう無理!」となった瞬間などなど・・・どんなことでも構いません。皆様からのお便りをお待ちしています。

※コメントはできるだけ200字前後でお願い致します。一家族1通のみの応募となります。

私は女子高校だったため、野球部がなく地方予選の応援も行けず、どうして女子高に行ってしまったのか後悔したものです。その高校時代に記憶に残る試合といえば、もう50年以上前になりますが、三沢高校対松山商業の決勝再試合が記憶に残っています。その中で2日間一人で投げぬいた太田投手に夢中になったものです。今では暑さも違い、ルールも変わっているので、このような過酷な状況は行われなと思います。現在も特定の高校を応援するわけではないのですが、高校野球中継には、つい夢中になってしまいます。

猿江2丁目／A・Aさん

高校野球は東京に出て来てから見る様になりました。私は東京に出て来て、もう58年目になります。(北海道です)高校野球は毎年欠かさず北海道を応援して盛り上がっています。

菊川3丁目／きみちゃん

春夏とありますが矢張り楽しみは夏の高校野球!地方の予選の時から家族の母校名を楽しみに探しながら新聞紙上を見えています(笑)5年前の夏の甲子園に夫の甥っ子が投手として2回だけ投げました。それを当時95歳だった姑が皆にアレが孫で〜と嬉しそうに話していたと聞き、こちらまでその嬉しさが伝わって来ました。誰にでも出来ることではない嬉しいおばあちゃん孝行になったと思います。

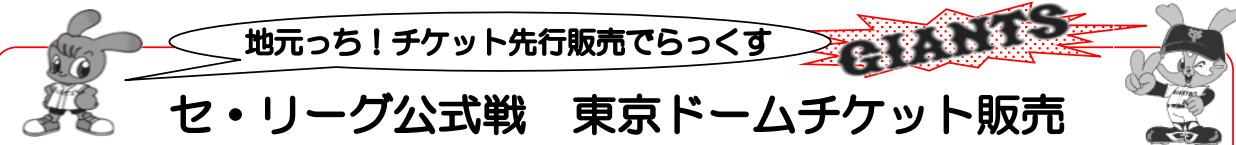
猿江2丁目／猿江ママさん

20年前の甲子園。早稲田実業の斎藤佑樹投手と駒大苫小牧の田中将大投手の投げ合いが一番の思い出です。延長15回で決着がつかず、翌日再試合となりました。ハンカチ王子とマー君は、その後も活躍されているので、ずっと印象に残っています。

住吉1丁目／Y・Nさん

学生時代にプラスバンドをやっていたので、高校野球を見ると、つい選手だけでなく応援席にも目がいきます。近年はとにかく夏が暑すぎるので、炎天下で演奏を続けるプラスバンドの皆さんの姿を見ると「大丈夫かな」と心配になります。それでも一生懸命に音を届ける姿には胸を打たれますもちろん選手にも頑張ってもらっていますが、応援席で最後まで演奏を続ける皆さんにも「頑張れ」という気持ちで見えています。

扇橋1丁目／マシュマロ母さん



地元っち!チケット先行販売でらっくす



☆☆☆読売新聞販売店限定ペアチケット!先行販売☆☆☆

9月12日(土) VS 阪神 外野指定席 ¥5,800- (¥2,900-)

9月18日(金) VS 中日 指定席B ¥9,800- (¥4,900-)

【購入方法】

お電話での受付となりますので、当YC住吉にご連絡ください。
先着順で販売いたしますので、よろしくお願い致します。

すべてペアチケット販売になります。

チケット枚数が少数なので、先着順にいたします。
ご理解・ご協力をお願い致します。

私は50年前高校球児でした。小さい頃から甲子園の中継を見ていて1つ疑問がありました。「なぜ、最後のバッターは1塁ベースヘッドスライディングするのだろうか?」と。数年後、何と!自分が9回裏2アウトランナー2塁、一打同点のチャンスで打席に入りました。打球はセンターへ抜けそうなセカンドゴロ。1塁ベースへ無心でヘッドスライディングしたがアウトで試合終了。最後のバッターの気持ちがよくわかりました。

猿江2丁目／下町のグレーロさん

1990年第72回夏の大会で天理高校が優勝しました。当日は奈良勤務、決勝は見に行けなかったけど、1回戦と3回戦の応援に行きました。いつも天理の応援には巻き込まれてしまう。夏季休暇中で朝5時過ぎに家を出て、4試合一杯飲んで、帰宅は22時過ぎ、体力・気力がありませんでした1992年春の選抜、星稜高校の松井秀喜の二打席連続の3ランホームランには度肝を抜かれました。

緑4丁目／H・Mさん

母校が甲子園に行けたら行こうと、毎月こつこつと預金。長い年月が過ぎ、いつかはとの思いで楽しみながら続けています。

猿江1丁目／T・Hさん

高校時代は野球ではない体育会のクラブに所属していました。当時から強豪で毎年のように甲子園に出場する野球部は学校からもひいきされていたので、当時は大嫌いでした。ただ、社会人になってみると、高校野球が好きなお得意先は結構多く、出身校や高校野球をきっかけに打ち解ける場面も多く、今ではテレビで母校を応援していきます。

白河4丁目／M・Mさん

他たくさんのご応募ありがとうございます!



よみうり購読サポート事務局
0800-17-096-43 受付時間: 平日 10時~17時
インターネットは24時間受け付けます
http://www.yomisapo.com
よみさぽ 検索

緑3丁目／mkさん